



本郷台中だより

～学ぶ楽しさを知り、夢や希望を育む学校～

令和6年度第5号

令和6年7月1日

文京区立本郷台中学校

校長 江熊 秀昭

和 顔 愛 語

校 長 江熊 秀昭

6月は「ふれあい月間」でいじめなどの困りごとについてアンケートを実施しました。些細な言葉の行き違いや態度などで、悩んでいる生徒には、良好な人間関係を築き、落ち着いた学校生活が過ごせるように教員が相談に乗りました。

仏教では過去も未来も、すべて今に集約されている。今をどう生きるか、それが未来への積み重ねになると考えます。

しかし、すべてを完全に成し遂げようと思うとつらい。理想を描き、目的に向かうことは大事ですが、なかなかその通りになるわけでもありません。

大切なのは、自分がどう生きるか。今のままの自分でいいんだと思って、前を向いて生きる。「まあ、いいか」の精神に近い。完璧でなくてもいいが、何もしなくてもいいということではありません。何事も中道です。

その根本は、完璧な人はいないのだから、ありのままの自分を受け止めることになります。そうすれば、一人ひとりを尊重でき、多様性を認められ、みんなが幸福を感じられる社会になります。

多様な価値観の人々と共に生きることが大切です。それが平和につながります。その基本は笑顔。人に微笑むには、まずは自分自身にも微笑んであげること。和顔愛語（わけんあいご）を忘れないでください。

和顔愛語は、「和顔」はやわらかな顔、「愛語」はやさしい言葉。つまり、文字通り、笑顔で愛情のこもった言葉で話すことです。

「和顔愛語にして、意を先にして承問(じょうもん)す」とあります。現代語版では「表情はやわらかく、言葉はやさしく、相手の心を汲み取ってよく受け入れ」と訳されています。

お金や物がなくても誰にでもできる施し(ほどこ)しである

「無財(むざい)の七施(しちせ)」には、「やさしい言葉で相手に

接する施し」(言辞施)や、「善意に満ちた和やかな顔と明るい姿で相手に接する施し」(和顔施)があります。



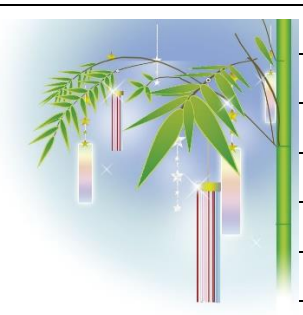
人間関係にはたいへん大切な態度ですが、心に余裕がなければなかなかできるものではありません。朝の忙しい時間でも、笑顔で「おはよう」と挨拶を交わしたいものです。現代のような殺伐とした世の中では、なおさらかもしれません。

しかし、そんな世の中だからこそ、教えにあるように、相手の心を汲み取ってよく受け入れ、「和顔愛語」を忘れないようにしたいものです。

「和顔愛語」とは、和やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接することです。この言葉は、さらにこう続きます。「先意承問」(せんいじょうもん)。これは相手の気持ちを先に察して、その望みを受け取り、自分が満たしてあげるという意味です。つまり、「和顔愛語 先意承問」とは、和やかな顔と思いやりの言葉で人に接して相手の気持ちをいたわり、先に相手の気持ちを察して、相手のために何ができるか自分自身に問いただすということになります。

1学期における自分の態度や言葉遣いなどを今一度振り返り、思いやりのある態度で人に接し、「みんなが幸福を感じられる学校」を目指していきましょう。

7月行事予定

1日	月	全校朝礼	
3日	水	専門委員会	
4日	木	学校運営連絡協議会・地域協働本部	
5日	金	第1回進路説明会・3年懇親会・漢字検定	
6日	土	生徒会サミット(区民センター13:30~)	
8日	月	生徒会朝礼	
10日	水	1年八ヶ岳移動教室(~12日)	
12日	金	2年東京レガシー事業	
13日	土	PTAスポーツフェスティバル:ポッチャ(スポーツセンター9:00~)	
14日	日	社会を明るくする運動(シビックセンター13:30~)	
15日	月	海の日	
16日	火	保護者会14:40~ 1・2年懇親会 3年修学旅行説明会	
18日	木	大掃除	
19日	金	終業式・学年集会・学習相談	
22日	月	夏季休業日始・三者面談(~31日)	